

特別支援教育理解資料

「交流及び共同学習」の推進



隣接する小学校との交流（岐阜希望が丘養護）



ふれあい作品展出品作品（岐阜養護）

共に生きる地域社会をめざして

平成18年3月

岐阜県教育委員会

「交流及び共同学習」とは

児童生徒の経験を広げて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むことを目的とする従来の交流教育に、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共通の目的を持って学習を深める共同学習を含めて総合的に進めようとするものです。

「交流及び共同学習」の形態、種類には以下のようなものがあります。



テレビ会議による交流（岐阜聾）

a 学校間交流(盲・聾・養護学校と小学校等との交流)

各圏域の盲・聾・養護学校と地域の小・中学校が計画的・継続的に交流を行っています。直接交流ばかりではなく、ビデオレターやメール交換、作品交流などを通じて、間接的な交流を実施している場合もあります。

b 通常の学級と特殊学級との交流(同一学校内での交流)

特殊学級に在籍する児童生徒が、一部の教科等の授業を通常の学級で一緒に受けたり、遠足等行事と一緒に参加したりしています。どの場合でも、無理のない計画のもとに、互いのよさが見えてくるような活動にすることが重要です。



おでんパーティ（池田・八幡小）



窯まつりの火入れ式（東濃養護）

c 地域交流(盲・聾・養護学校の所在地における交流)

県内の盲・聾・養護学校では、地域の方を招いて様々な行事を行っています。運動会、文化祭、作品展、窯まつり等々、日頃の学習の成果の発表とともに、地域の方とのふれあいの場になっています。最近では、地域の方と一緒に企画する地域行事も増えてきました。

d 居住地校交流(盲・聾・養護学校の子どもが住んでいる地域での交流)

盲・聾・養護学校に在籍する児童生徒が、自分の住んでいる地域の小・中学校へ出かけ、共に学ぶ活動です。行事の交流だけでなく、授業を一緒に受けたり、総合的な学習の共同研究を一緒に行ったりする例も見られるようになりました。



音楽の合同授業（長良養護）

ノーマライゼーション社会の実現

障害のある児童生徒が、大人になっても地域で共に生活することが当たり前の社会。二十歳になれば、地域の同年齢の仲間と共に成人式に参加し、等しく祝福を受ける社会。ノーマライゼーションとは、例えばそんな社会をみんなでつくりあげる営み全てです。



このノーマライゼーション社会の実現に対して、教育の果たすべき役割は極めて大きく、学習指導要領の中でも、障害のある幼児児童生徒や高齢者などとの交流を進めていくよう以下のように定めています。

「開かれた学校づくりを進めるため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間や幼稚園、中学校、盲学校、聾学校及び養護学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒や高齢者などとの交流の機会を設けること。」

(小学校学習指導要領総則より)

また、障害者基本法において、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒との交流及び共同学習を積極的に進める旨が規定されたことも踏まえ、特殊学級を担当す



る教員と通常の学級を担当する教員の連携の下で、特殊学級に在籍する児童生徒が通常の学級で学ぶ機会が適切に設けられることを一層促進するとともに、その際の教育内容の充実に努めることが求められています。

3 国及び地方公共団体は、障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない。(障害者基本法(教育)第14条より)

共に学びあうとは

障害のある児童生徒にとって



障害のある児童生徒が、円滑な対人関係を形成し、豊かな社会生活を送ることができるようにするためには、盲・聾・養護学校や特殊学級等でのきめ細かな教育とともに、児童生徒の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てるための「交流及び共同学習」が重要な役割を担っています。

小・中学校の児童生徒や地域社会の人たちにとって



障害のある児童生徒との「交流及び共同学習」を通して、小・中学校の児童生徒や地域社会の人たちの多くは、人間の可能性や互いの共通性を再認識するきっかけとなっています。

このように、同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことは、とても大切なことです。「交流及び共同学習」は、このための基盤づくりともなる重要な活動です。

点検してみませんか・・・たとえば小・中学校の場合

- 1 校区から盲・聾・養護学校に通っている児童生徒のことを知っていますか。
- 2 交流学級では、障害のある児童生徒が所属感を高めることができるように工夫をしていますか。
- 3 教科交流では、わかる喜びや共通の目的を達成できた喜びが得られるように取り組んでいますか。
- 4 特殊学級の児童生徒が、夏休みのラジオ体操や子ども会活動に参加していますか。

